

総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第96号 白河市債権管理条例

債権管理に関する関係法令の一覧化、市内部で保有する債権管理情報の共有化、回収不能と判断される債権整理の円滑化を図り、市が保有する債権の適正かつ効率的な管理を推進するため、新たに条例を制定するものです。

●こんな質問が出ました。

Q 公債権の内容について

A 公債権は、「強制徴収公債権」と「非強制徴収公債権」に分類される。「強制徴収公債権」は、地方税法の滞納処分等の例により処分することができる債権であり、主なものとして保育園保育料などである。

「非強制徴収公債権」は、個

別の法令に根拠規定がなく、民事訴訟法に基づいて裁判所に強制執行の申し立てを行うことで回収できる債権であり、主なものとして農業集落排水使用料などである。

議案第106号

令和元年度白河市一般会計補正予算（第2号）

●こんな質問が出ました。

Q 市民会館跡地利用計画策定委員会の構成メンバーについて

A 具体的なメンバーについては、今後検討していくこととするが、現時点では、健康や生きがいづくりなどの機能の導入を考えているため、それらに関連する団体などから人選を行い、10から15名程度で委員会を設置していきたい。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第99号 白河市印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法施行令等の一部改正により、住民票、マイナンバーカード等への旧氏（旧姓）の併記が可能となり、これを引用する国の印鑑登録証明事務処理要領が改正されたことから、これに準じて定める当該条項の関係条文を改正するものです。

●こんな質問が出ました。

Q 外国人が離婚した場合、本条例が適用されると、旧氏と通称名の選択はどうなるのか

A 旧氏の使用には戸籍謄本の添付が必要になることから、外国人には適用されず、日本人のみが対象となるため、外国人は通称名を継続して使用することに

なる。

議案第106号 令和元年度白河市一般会計補正予算（第2号）

●こんな質問が出ました。

Q 人・農地プラン作成事業でアンケートの内容及びプラン策定について

A アンケートによって将来的な農業経営の考え方や後継者の確保などの情報を収集するとともに、現状の土地利用等を図面化し、それらの資料をもとに地域内で話し合い、人・農地プランを作成し、担い手への農地集積を加速させていく。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第109号

令和元年度白河市介護保険特別会計補正予算（第1号）

●こんな質問が出ました。

Q 介護給付費準備基金の積立金はどついつ見通しで積立をしたのか

A 平成30年度から3年間を計画期間とする第7期計画において、計画の初年度であるための繰越が生じたもので、今後、介護給付金の増加が予想されるなかで、今回の積立も含め、基金を取り崩し対応する予定である。



建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について、主なものを報告します。

議案第106号

令和元年度白河市一般会計補正予算（第2号）

●こんな質問が出ました。

Q 来てしらかわ住宅取得支援事業補助金について件数が3倍に増えているが、県内外からきているのか、その実態はどうなっているのか

A 今年度、この支援事業を利用して、これまで県内から9世帯29名、県外から3世帯6名、合計で12世帯35名が移住しており、最終的には40世帯の移住が見込まれる。



付託された議案は、いずれも原案のとおり認定及び可決しました

●こんな質問が出ました。

Q 学校施設等老朽化診断調査の調査項目について

A 学校施設の屋根屋上、外装、内装、電気設備、機械設備の5項目で、市内小中学校23校の長寿命化計画策定のための調査である。

議案第106号

令和元年度白河市一般会計補正予算（第2号）

●こんな質問が出ました。

Q 後期高齢者インセンティブ交付金について

A 市町村の事業を点数化し交付金をいただく事業である。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

議案第103号

白河市水道事業給水条例等の一部を改正する条例

消費税法の一部を改正する法律により、令和元年10月1日から消費税率が10%に引き上げられることに伴い、水道料金等を改正するものです。

●こんな質問が出ました。

Q 一般家庭平均の消費税改定の影響額はどのくらいか

A 基本料金、水量料金ともに2%増額となるので、一般家庭の水道料金が2カ月で1万円の場合、200円増額となる。

